

災害なんかに負けない地域をつくろう!

東区砂田橋学区 避難行動マップ

この避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、砂田橋学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。

この避難行動マップをもとに、「いざ」という時どんな行動をとればいいのか日頃から考えておきましょう。

各ご家庭で、どの避難先へどのルートで避難するか、日頃から話し合うなどして決めておきましょう!

指定避難所

- ① 砂田橋小学校
- ② 名古屋中学校
名古屋高等学校

② 名古屋中学校
名古屋高等学校

矢田中学校
指定避難所
(医療救護所)

愛知教育大学付属
名古屋中学校
指定避難所

至学館高等学校
指定避難所

マックスバリュ
砂田橋店
駐車場の使用、
トイレの貸出、
食料の調達

気を付けて!

1. 空き家

耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり。

2. 古いブロック塀

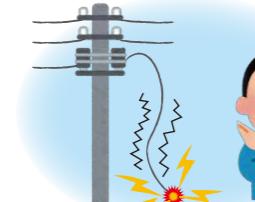
大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない。

3. 狹い道

近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり。

4. 電線

切れた電線は停電時でも感電の危険があるので、絶対に近づかない。



① 砂田橋小学校

ホームセンター
コナーン砂田橋店
屋外平面駐車場の開放

千代田橋緑地
指定緊急避難場所

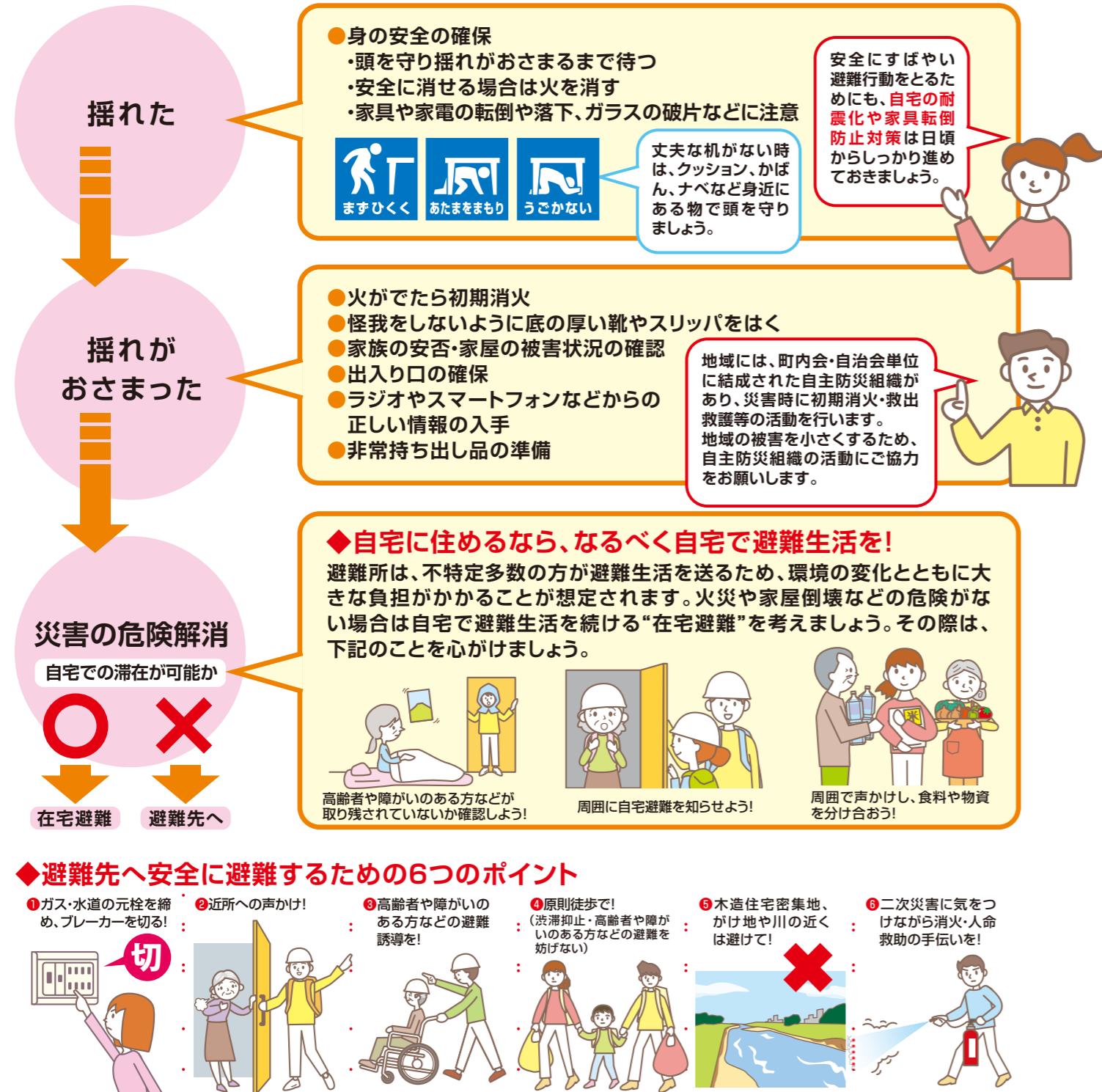
WC

</div

東区砂田橋学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い震度6強ないし6弱の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。揺れがおさまった後、自宅が被害を受けたかまたは受けたおそれがある場合は適切な避難を行いましょう。また、液状化現象が起きる可能性が高い箇所がいくつかあります。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなる可能性があります。さらに家屋やブロック塀の倒壊なども踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生! 災害時の対応



一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

例えは
こんな方
目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など。

対応方法
優しい言葉でゆっくり声かけ
メモや、身振りで伝える

移動が難しい方

例えは
こんな方
普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど。

対応方法
複数で手伝う
身边にあるものを利用する

避難の時の豆知識

避難する時に持って行くもの 非常持ち出し袋を準備しましょう!

| | | | |
|--|--|---|---|
| 防災用品 □ 携帯ラジオ □ ヘルメット・防災ずきん □ 車手 □ マスク | 照明等 □ 懐中電灯(電池含む) □ マッチ・ライター | 食器類 □ はし・スプーン □ 紙皿・紙コップ | 食料等 □ 飲料水 □ 食料(非常食・携帯食) |
| 医療用品 □ 三角巾 □ 包帯・ガーゼ □ ばんそうこう □ 消毒薬 □ ウェットティッシュ(ティッシュ) □ お薬手帳の写し | 貴重品 □ 現金(小銭も必要) □ 預(貯)金通帳の写し □ 健康保険証・免許証の写し □ カード類 □ 認印・印鑑など | 便利用品 □ 筆記用具 □ 新聞紙 □ 携帯用トイレ □ ゴミ袋 □ キッチン用ラップ □ 使い捨てカイロ □ 雨具 □ 手動携帯電話充電器 | 衣料品 □ 衣類(着替え) □ タオル(大小2種類) □ 新聞を体に巻いて防寒 □ ゴミ袋をカッパに □ ラップをお皿にしいて節水 |

● 地図面凡例説明

| | | | | | |
|---------------|--|--------------|---|----------|---|
| 指定避難所 | 家屋の倒壊などにより住居に被害を受けた方、あるいは被害を受けるおそれのある方を一時的に受け入れ、滞在させるための施設 | 応急給水施設 | 大地震発時に、広域避難場所などにおいて飲料水を提供すると共に給水車の補給基地となる施設 | 地下式給水栓 | 地震時に避難者自らが操作し、飲料水を確保するための非常用の蛇口を備えた設備 |
| 災害応急用協力井戸(一般) | 命を守るために、災害の危険からまず逃げるための場所(災害の種類ごとに異なる) | 災害応急用井戸(事業所) | 大地震発時の生活用水確保を目的とし、市民、事業所などが持つ井戸のうち、災害時に地域住民に提供いただける井戸 | 指定緊急避難場所 | ■ 地震のとき→砂田橋小(市立小・中学校)のグラウンド ■ 大規模な火事のとき→大幸第二公園、千代田橋緑地(広域避難場所) ■ 洪水・内水はん濫のとき→砂田橋小・名古屋中・高の屋内(指定避難所) |